

< 母比率の区間推定 1 >

ある集団の内閣支持率を調べる場合、母集団は支持する人と支持しない人に分かれる。この比率 $\frac{\text{支持する人の人数}}{\text{母集団の全人数}} = p$ を **母比率** と呼ぶ。この母比率を求めたい。この母集団から n 人を復元抽出し、

$$X_k = \begin{cases} 1 & : k \text{ 番目に選んだ人が支持者の場合} \\ 0 & : \text{そうでないとき} \end{cases}$$

とおくと、和 $\sum_{k=1}^n X_k$ は 2 項分布 $B(n, p)$ に従う確率変数である。従って平均 $\bar{X} = \frac{1}{n} \sum_{k=1}^n X_k$ は $E[\bar{X}] = p$, $E[(\bar{X} - p)^2] = \frac{p(1-p)}{n}$ であるので、その標準化 $\bar{X}^* = (\bar{X} - p) / \sqrt{p(1-p)/n}$ は近似的に標準正規分布に従う。すなわち

$$P\left(\left|\frac{\bar{X} - p}{\sqrt{\frac{p(1-p)}{n}}}\right| \leq \alpha\right) \doteq \int_{-\alpha}^{\alpha} \frac{1}{\sqrt{2\pi}} e^{-\frac{x^2}{2}} dx = f(\alpha)$$

である。従って信頼度 $f(\alpha)$ の信頼区間は

$$\boxed{\bar{X} - \alpha \sqrt{\frac{p(1-p)}{n}} \leq p \leq \bar{X} + \alpha \sqrt{\frac{p(1-p)}{n}}} \quad (***)$$

である。この式 (***) は p に関する 2 次不等式であり、これを解くと

$$\boxed{\frac{b - \sqrt{D}}{2a} \leq p \leq \frac{b + \sqrt{D}}{2a}} \quad (***)'$$

$$\left(a = \frac{1}{n} + \frac{1}{\alpha^2}, \quad b = \frac{1}{n} + \frac{2\bar{X}}{\alpha^2}, \quad c = \frac{\bar{X}^2}{\alpha^2}, \quad D = b^2 - 4ac\right)$$

である。

(注) n が十分大きい場合は (***)' のかわりに (***) 式の $p(1-p)$ を $\bar{X}(1-\bar{X})$ で代用した式

$$\bar{X} - \alpha \sqrt{\frac{\bar{X}(1-\bar{X})}{n}} \leq p \leq \bar{X} + \alpha \sqrt{\frac{\bar{X}(1-\bar{X})}{n}}$$

を用いることもある。